

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

1 月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

#### インフルエンザ

昨年12月から報告数が急増し今月は2,551件（前年同月比6.1、前年同月比1,275.5）と3季ぶりに流行しています。県内全域から報告があります。年齢区分では10-14歳が最多で全年齢で報告があります。今後、乳幼児や高齢者での流行に注意が必要です。

### 小児科定点

#### （全体傾向）

報告総数4,428件（前月比1.53、前年同月比1.46）と昨年同時期と比べると高い推移を示しています。インフルエンザ、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎が多く報告されています。

#### （疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症： 201件（前月比1.4、前年同月比0.4）の報告です。年齢別では0～2歳児が中心です。菊池（定点当たり11.60、58件）が最も多く、八代（同9.50、38件）、天草（同5.75、23件）と続いています。先月と比べ報告数は増加しており流行のピークは越えていないようです。
2. 咽頭結膜熱： 報告数24件（前月比0.6、前年同月比0.7）と昨年よりも低い水準を推移しています。
3. A群溶連菌咽頭炎： 報告数23件（前月比0.6、前年同月比0.6）と昨年よりも低い水準を推移しています。
4. 感染性胃腸炎： 報告数1,215件（前月比0.8、前年同月比0.6）と先月より減少しています。1-2歳を中心に全年齢層から報告があります。多くの地区から二桁以上の報告がありますが、特に多いのは菊池（定点あたり71.20、356件）、有明（同28.80、144件）、八代（同25.00、100件）です。
5. 水痘： 報告数15件（前月比0.3、前年同月比0.5）と例年よりも低い水準を推移しています。
6. 手足口病： 報告数52件（前月比0.3、前年同月比0.5）と例年よりも低い水準を推移しています。
7. 伝染性紅斑： 今月報告はありません。
8. 突発性発疹： 報告数87件（前月比0.8、前年同月比0.9）と例年同様の推移とと思われます。
9. ヘルパンギーナ： 報告数74件（前月比0.5、前年同月比1.5）で前月より減少しました。
10. 流行性耳下腺炎： 報告数7件（前月比0.7、前年同月比-）と今年度の患者数は低水準が続いています。

### 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告がありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数16件で前月比1.2と微増、前年同月比0.7と減少しています。熊本13件、菊池1件、有明2件の報告です。年齢別では20～49歳に集中しており、14歳未満に報告がありません。

## STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

### 1. 性器クラミジア感染症：

報告数66件(前月比0.9、前年同月比0.9)で、前月比・前年同月比共に微減しています。男女別では男性が42件で、女性は24件でした。年齢別では男性が15歳～64歳と幅広い年齢層に、女性は15歳～54歳にみられています。地区別では熊本が53件、有明と宇城が共に4件、御船が3件、菊池と八代が共に1件でした。

### 2. 性器ヘルペスウイルス感染症：

報告数 20 件(前月比 0.8、前年同月比 0.8)で、前月比・前年同月比共に減少しています。男女別では男性が 14 件、女性が 6 件でした。年齢別では男性が 20 歳～70 歳以上に、女性は 40 歳～70 歳以上みられています。地区別は熊本が 17 件、八代・御船・宇城が各 1 件でした。

### 3. 尖圭コンジローマ：

報告数は 8 件(前月比 1.3、前年同月比 2.0)で、前月比・前年同月比共に増加していました。男女別では男性が 5 件で女性が 3 件でした。年齢別では男性は 20 歳～54 歳に、女性は 15 歳～29 歳にみられています。地区別では熊本が 3 件、菊池・宇城が共に 2 件、御船が 1 件でした。

### 4. 淋菌感染症：

報告数は37件(前月比1.9、前年同月比1.2)で、前月比・前年同月比共に増加していました。男女別では男性が31件で、女性は6件でした。年齢別では男性が15歳～59歳、女性は15歳～34歳にみられています。地区別は熊本が32件で、有明が2件、菊池・御船・宇城が各1件でした。

## 基幹定点

(月報分)

### 1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

報告数は27件(前月比：1.4、前年同月比：1.0、男女比：21/6)と増加傾向でした。熊本(14)、阿蘇・人吉・有明(各3)、八代(2)、山鹿・水俣(各1)でした。年齢分布としては70歳以上(19)、65-69歳(5)、0歳・45-49歳・55-59歳(各1)と高齢者に多く認められました。

▼例年より多い報告数でした。

### 2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

報告数は 2 件(前月比：0.7、前年同月比：0.3、男女比：1/1)と減少傾向でした。熊本・有明(各 1)でした。年齢分布としては 70 歳以上(2)でした。

▼例年並みの報告数でした。

### 3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は 0 件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。

▼例年並みの報告数でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は 2 件(前月比：-、前年同月比：2.0)で増加傾向でした。熊本(2)で、年齢分布としては45-49歳・55-59歳(各1)でした。  
▼例年より多い報告数でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は 1 件(前月比：-、前年同月比：-)で増加傾向でした。熊本(1)で、年齢分布としては35-39歳(1)でした。  
▼例年並みの報告数でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数でした。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。  
▼昨年度に引き続き報告がありません。
5. 感染性胃腸炎(ロタウイルスによる)：  
報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。  
▼例年より少ない報告数でした。

## 届け出対象感染症

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| 1類感染症：報告はありませんでした。    |         |
| 2類感染症：結核              | 8件      |
| 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症     | 1件      |
| 4類感染症：レジオネラ症          | 2件      |
| 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 | 2件      |
| 侵襲性肺炎球菌感染症            | 2件      |
| 梅毒                    | 18件     |
| 新型インフルエンザ等感染症：        |         |
| 新型コロナウイルス感染症          | 64,456件 |